

海外事務所 主な活動報告（令和6年6月）

《ワシントン州事務所》

コミュニティ団体や企業などが、それぞれの活動・商品・サービスなどについて展示や紹介を行う、第9回ジャパン・フェアが開催された。当事務所は兵庫の酒の試飲等と観光PRを行った。

試飲については、いずれの銘柄も来場者に好評であり、各酒蔵や銘柄の情報も併せて紹介することで、酒の風味だけでなく知識としても楽しんでいただけた。

また、灘五郷の酒蔵巡りや山田錦・宮水等の紹介など、兵庫の酒関連を中心に観光PRも実施したところ、来場者からの関心を集めた。

今後も企業や関係団体等と連携しながら、各種イベント等で酒や食などの面からも兵庫の魅力を発信していきたい。

＜ジャパン・フェアでの兵庫の酒の試飲と観光PR＞

- 日 程 2024（R6）年6月29日（土）、30日（日）
- 場 所 ベルビュー・メイデンバウアーセンター（シアトル近郊）
- 参加者 約25,000名（うち、兵庫県ブース来場者 約700名）



兵庫の酒の試飲の様子

《パリ事務所》

ひょうごトルコ友愛基金（以下、友愛基金）の理事会に出席し、2023年決算及び2024年事業計画等について協議・承認を行った。友愛基金は、トルコ北西部で1999年に発生したマルマラ海地震に対する兵庫県義援金を基に、基金運用を行いトルコ国内で防災事業を展開している。県パリ事務所長は友愛基金の理事を務めている。

友愛基金では、震災遺児への奨学金支給、トルコ各地の教員を対象とした防災教育研修、2023年2月のトルコ東部地震の被災者支援などの各種事業を行ってきた。

また、2023年2月6日に発生したトルコ東部地震に対する兵庫県義援金により、同年9月から中東工科大学（アンカラ）とイスタンブール工科大学で建築・土木を専攻する被災地出身の学生を対象とした奨学金プロジェクトを開始している。

今回、両大学を訪問し、学部長や教員、奨学生達と面談した。大学教員からは、本県及び県民への謝意が述べられた。奨学生からは、今回の訪問で兵庫県とトルコの防災協力や、今回の奨学金プロジェクトの経緯を詳しく知った、将来ぜひ兵庫県を訪問したいとの声が上がっていた。

＜ひょうごトルコ友愛基金の理事会への出席ほか＞

- 日 程 2024（R6）年6月4日（火）、5日（水）
- 場 所 ^{とにち} 土日基金文化センター（アンカラ）、中東工科学、イスタンブール工科大学
- 参加者 友愛基金理事会 6名（基金関係者）
大学訪問 約50名（大学関係者）



中東工科大学での面談の様子

《香港経済交流事務所》

香港最大の総合旅行博である香港国際旅遊展（ITE）に兵庫県ブースを出展した。大阪・関西万博に絡めて「ひょうごフィールドパビリオン」や県内市町の多彩なパンフレットを配布したほか、当事務所 SNS アカウントへのフォローを促し、今後へと繋がる PR に努めた。

前半の業界デーには、深圳や広州等香港と隣接する広東省からも多くの観光産業関係者が来場され、大阪・関西万博への具体的な反応も感じられた。「上海万博」が大成功を取めたという記憶が強く残っており、「万博」の2文字を見てポジティブな関心を示される方が多いと感じた。当事務所の香港人学生インターン3名に元インターン2名も加わり、若者目線で感じた本県各地の魅力を自身の言葉で伝える活躍によって、盛況のうちに出展を終えることが出来た。

<香港国際旅遊展（ITE）への兵庫県ブース出展>

- 日 程 6月13日（木）～16日（日）
- 場 所 香港市内（香港会議展覽中心）
- 出展数 67 各国・地域、515 社・団体
- 来場者数 70,050 人（業界 7,023 人、一般 63,027 人、うち、兵庫県ブース来場者 約 3,000 人）



賑わう兵庫県ブースの様子